

自己改革

植木地区

植木地区

今日における政府・規制改革推進会議※の動向は、JAの総合事業を否定したり、准組合員の事業利用を制限するなど、農協解体ともいえる政府が求める「農協改革」を推し進めようとしています。この事に対し、私たちJA鹿本は、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を目指して自己改革に取り組んでいます。

今回は植木地区の取り組みを紹介します。

※規制改革会議とは▶内閣府の諮問機関。委員14名で構成されている

JA職員の取り組み

地区のイベントや青年部・女性部の活動を紹介する地区だより「うえき通信」を年6回以上発行する他、農家組合長や青年部・女性部も交え年1回「対話集会」を開催するなど、地域に根差した活動を行っています。

また、植木地区出身の役職員で年に2回ゴミ拾い等の地域清掃ボランティア活動に取り組んでいます。支所の花壇には花や野菜を植え、農業を身近に感じられる空間を作っています。



▲「対話集会」を開催



地区だよりの発行▲

祭りを通して地域を活性化



くらしの活動の一環として、植木支所で平成27年から毎年開催している「感謝祭」では、植木出身職員や青年部・女性部が地域活性化に取り組んでいます。ステージイベント等も行い、地域の方々と一緒に植木地区を盛り上げています。

また、「北区こども祭り」では、スイカの早食いや種飛ばし等のイベントを通してスイカに触れる機会を増やし、地域住民との交流を図っています。



▲スイカ早食い

青年部・女性部の活動

植木地区の青年部・女性部は食農教育等に力を入れています。地域住民との交流を活発に行い、植木地区の「地域活性化」の一役を担っています。



▲小学生スイカ販売

青年部

青年部は、山本支部・田原支部・菱形支部・桜井支部・植木支部・植木北支部の6支部があります。

支部ごとに地元の小学生・保育園児と一緒にスイカ・野菜の栽培や稲作実習を行うなど、農業の楽しさを伝える積極的な食育活動に取り組んでいます。感謝祭等でブースの出店を行い、地域住民との交流も図っています。



◀水風船を販売する青年部



▲防災頭巾の制作



◀地域の高齢者に頭巾を配布

女性部

女性部植木支部は全体での食育活動はもちろん、旧支所単位でも地元の小学校を対象に女性部の知識を生かした様々な地域貢献活動に取り組んでいます。

中でも、8年前から防災頭巾の制作を行い、熊本地震を経験してからは一層力をいれて取り組んでいます。女性部員が制作した頭巾を地域の高齢者へ配布したり、小学校保護者に作り方を教えたり、バスタオルでの簡単な防災頭巾を小学校の子ども達と一緒に作る等、防災頭巾を通して積極的に活動を行っています。

JA鹿本は各事業を通じ、創造的自己改革の実現に向けて取り組みます！ 次月号に続く▶▶▶